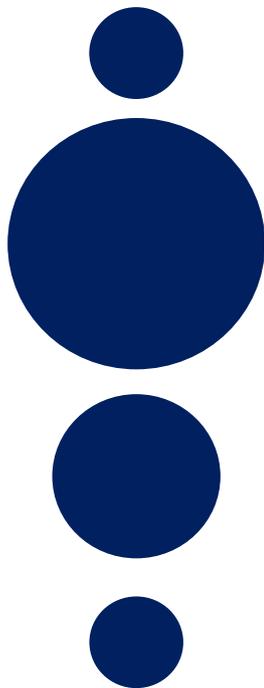




認定NPO法人アカツキ
〒812-0013

福岡市博多区博多駅東1丁目4-1 中良（なかよし）ビル505号室
Email: info@aka-tsuki.org Web: <http://aka-tsuki.org/>



年次報告書

2019

認定NPO法人アカツキ

アカツキ代表理事交代の理由 雪松の言葉で端的に3点 まとめてみました

1「アカツキの実態に合わせる」

アカツキでは、経営は理事全員でしており、理事の声を代わりに表するのが代表という考えです。今回の交代に向けて、代表の役割確認や交代スケジュールなど2年がかりで準備を進めてきたことにより、ようやくアカツキの実態に合わせられます。

2「新しい関係性の構築」

理事就任時の「自分は経営者になれるのか」という問いと、アカツキからもらった「役割ではなくその人が必要」という言葉が、確信に変わったタイミングで、代表理事交代となりました。組織内部の新たな発見や、新しい人たちとのつながりを理事みんな楽しみにしています。

3「自らの実践」

代表理事交代は、アカツキ設立時から行う必要のあるものと考えており、最近ではクライアントからも代表交代の相談を受けることが増えました。今後は私たちが実践した取り組みや工夫、大変さなど、実体験を踏まえてお伝えできるようにします。アカツキが自らNPO法人を運営しつつ、非営利組織のコンサルティングをしていることと併せて、今後も対等な立場で活動を続けていきます。

代表理事交代にあたって 正会員にご協力いただき インタビューを行いました

インタビュアー：富永沙和（正会員）

Q.雪松さんって、どんな人なのか 教えてください！

A.家庭も子育ても仕事も、いつも精一杯で余裕がない人と思っています。でも仕事のおかげで、いろんな人と話をして、その人の価値観に触れることのできる瞬間に、とても元気をもらいます。

Q.代表になることについて、どのように 感じていますか？

A.最初は不安が大きかったのですが、今年度に入ってどんどん大丈夫だと思えるようになり、いまは総会や事務手続きなどを経て落ち着いています。自分のなかで「代表理事」と「職員」を別物の役割として整理できたのも大きいですが、職員としての永田さんは、経験年数も違うし敵わないと思ってしまうこともあるけれど、代表理事としては、私でも落ちかたちでできるのではないかなと思うようになりました。

Q.ズバリ、雪松さんはどんな代表に なりたいのでしょうか？

A.かっこいいことは言えなくても、目の前の人と向き合いながら、自分の言葉を発信していきたいです。アカツキではこれまでも、「綺麗で上手な言葉」よりも「悩みながら絞り出した言葉」の方がやっぱり伝わるということを実感してきたので、それでいいかなと。

Q.雪松さんが代表になることで、 変わりそうだなと思うことはありますか？

A.私が「代表理事になります！」と挨拶周りしたときに「雪松さん大丈夫！？」と言ってくれる人が何人かいました。私が代表になるのを心配する人がいるということは、アカツキを気にかけて見てくれるきっかけにもなります。ある意味「どんくさい」ところもちゃんと見せることで、アカツキが理事や会員みんなに支えられてきているという、安心感につながると思います。

Q.雪松さんが、これから代表として やりたいことってありますか？

A.理事会で私がちゃんと声を出してすり合わせる作業をしたうえで、アカツキみんなの声を代表して発信していきたいです。ただ、永田さんが先に発言すると、考えが似ていて同意しがちなので、それより先に発言するとか、部分的に意見が違う部分を、敢えて強調して表現してみたらどうかと考えています。いままで理事や会員・サポーターのみんながアカツキを作ってきた大ききさ、いい意味でプレッシャーとして、背負っていかたいです。



理事・高柳からのコメント

理事会では常に当事者の視点を忘れず、相手に寄り添い話を聞いてくれる雪松さん。これまで笑顔あり涙ありの合宿や経営会議をともに過ごしてきました。自分のいいところも、弱い部分も素直に示してくれる雪松さんだからこそ、アカツキのこれからを一緒につくっていくと思っています。

理事・志賀からのコメント

今回の代表交代は、組織の強化や存続のためというよりも、アカツキとしての考え方やコンサルティング手法の「普通化・一般化」がねらいだと理解しています。永田が語ってきたこと、雪松が語っていくことに違いはあると思いますが、それでも共通する部分にアカツキとして大切なことがあらわれてくるんじゃないかならうかと。

新理事・鳥居からのコメント

一般的な組織においては、「一人の代表の顔を売っていくことが事業拡大の手段」となることが多いのではないのでしょうか。しかし、アカツキの場合は「誰が代表になってもそこに残るのがアカツキらしさ」ということを示そうとしている。呼吸する「いきもの」としての組織であるからこそ、全体に血を巡らせ、新しい関わりを紡いでいけると考えています。

子どもNPOセンター福岡

特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡は、「すべての子どもが尊重される社会」をビジョンに、虐待や貧困、いじめや子どもの自殺などの社会課題に取り組む地域の団体をつなぎ、互いの活動を認め合い、協力して活動を進めるためのプラットフォームを作り、そこから生まれる新しい価値を社会に提言していく組織です。



組織診断／組織基盤整備の取り組み

「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」の助成金を活用し、2019年1月から8月までの期間、アカツキに組織診断をご依頼くださいました。

- ①代表の世代交代に向けた準備
 - ②財政基盤の強化
 - ③中間支援組織機能の充実
- といった3つのテーマを柱として、理事へのヒアリングや会員へのアンケート項目設計・分析をアカツキが担当しました。こちらが提案や指導をするのではなく、団体の理事・職員の皆さんに分析結果を解釈頂くという点を重視して取り組みました。



「一人ひとりが主役」や「民主的な運営」など、アカツキの言葉の端々から、NPOの意味や役割の理解を感じられたので、安心感がありました。事務局職員が組織全体をトータルで見る、よい機会になったと思います。職員が新しい役割や責任を躊躇なく引き受けてくれたという出来事もあり、新たな一歩を踏み出すきっかけとなりました。

大谷 順子さん ▶
(理事／前・代表理事)



理事としての関わりだけでは全体が見えない組織の在り方に、このままではいかと疑問を持ったタイミングで、アカツキとの取り組みが始まりました。最初に実施した分析内容を見て、代表をはじめ事務局の本気度が伝わってきました。アカツキが今まで情報発信していた内容とコンサルティंगの動きが一致しており、気持ち良かった印象が残っています。

◀ 重永 侑紀さん
(新・代表理事)

佐藤 恭子さん ▶
(事務局)

今回の取り組みの中で理事会での発言者が増え、団体の在り方などを議論する機会を持つことができたのは良かったと思います。今でも、会議ではできるだけ、ぐるりと全員に発言を回すようになっています。「NPOとは？事務局とは？」ということを考える機会にもなり、「事務局は、団体の要だよ」と理事の方に言うてもらえるようになりました。



◀ 牛島 恭子さん
(事務局長)

アカツキが関わったことで、直接、具体的に何か大きく変わったという実感はありません。ただ私自身は、目の前の事業ばかりに向きがちだった目が、場に乗った「人」に目を向けられるようになったと感じます。コンサルタントが何かを解決してくれるのではなく、人の関係性やエンパワメントを大事にしているのだと感じました。

新しいニーズと取組み

2019年度は、お寺や共同組合といったNPO法人以外の非営利組織からの依頼がありました。

SDGsをテーマにした研修では、ゲームやアイコンへの当りはめではなく、歴史や指標、組織の関係者に焦点をあてたパッケージやワークシートを開発してきました。また、アカツキが独自開発した事務診断ツールも活用し、4団体に認定NPO法人取得のサポートを行いました。2020年6月末現在の福岡県の認定NPOのうち1/3の10団体に何らかの形で、アカツキが支援、ご協力しています。



助成財団シンポジウム in 福岡

助成財団センター主催、アカツキが地域の事務局を担った本企画では、全国を対象とした東京の助成財団等と地域の助成機関、NPOが参加、100名が集まりました。

新型コロナウイルス感染症の見通しが不透明な状況下、「Social Distance」などではなく、フィジカルな距離は保ちつつも社会的な関係性は一層緊密にしながらWith Corona/Post Coronaの社会形成に向けた活動を展開する。先ずはご当地NPOの活動再開や新規事業の展開に向けた支援を。そして、それらの経験を活かして地域の問題・課題を深掘りすることで社会のありようを提言していく。そのような「小粒でもビリリと辛い存在」としての一層のご活躍と発展を期待しています。



公益財団法人 助成財団センター
理事 渡辺 元さん

トヨタ財団 市民参加研究会

私どもの「市民参加研究会」では、「NPOは、一部のヒーロー（専門家）から、多様な人々が地域や社会を作ることに参加できる受け皿としての役割を担ってほしい」と考え、若手NPOの中でも、NPOの理念を大事にして参加や協力ということをきちんと考えていらっしゃるアカツキの永田さんにメンバーに加わっていただきました。「市民参加研究会」の成果は、「hint」としてトヨタ財団のホームページでご紹介しております。



公益財団法人 トヨタ財団
事務局 大野 満さん





立ち止まり対話するための助成金「AKBN(アケボノ)」の功成

「長期的な成果のために立ち止まる」この助成プログラムは、組織基盤整備の基盤として理事・職員・支援者と対話するために、立ち止まり、足元を確認することを目的に設立しました。「短期的な成果や収入に結びつかないが長期的に見て重要な取り組み」に必要な、管理部門の人件費やその他の費用を助成し、アカツキの伴走型コンサルティングと併せ、支援を行っています。

第二期の通常型採択団体「NPO百千鳥(ももちどり)」は、30万円の助成金を日帰り合宿の開催やその旅費、それらに関連する人件費に使用しました。

「それぞれが感じていた問題を言語化できた」「自分たちの求める人材像に気付くことができた」「メンバーが離れている団体によって交遊費を助成金として担保してもらえらることは助かった」等の報告がありました。



第二期から新たに加わった会計特化型の採択団体「ハンクドラッシュと手をつなぐ会」は、10万円の助成金を書類整理のためのファイルやパソコンの購入に使用しました。「書類をクラウドで共有できるようにして効率化できた」「事務局スタッフの対話が深まった」等の報告がありました。



第三期の通常型採択団体は通常型の採択団体は「ふくおかFUN」に決定しました。福岡の水世界中で広く行われている生物の営みを見守り、新たな発見や感動を人々と共有し、この自然を次世代まで残していくこと使命として、活動しています。会計特化型は、残念ながら応募がありませんでした。団体の財政状況や帳簿を外部の人に見られたくないというハードルがあるのではないかと?という仮説を持ち、今後再検討・改善していく予定です。

助成金ニーズアンケート調査と分析

「AKBN(アケボノ)ファンド」の改善と、地域におけるNPOと助成金・補助金のより良い在り方・関係性を模索するため、アンケート調査を実施しました。設問の設計や分析には、コンサルティング会社などでも働く会員やプロボノにご協力を頂きました。アンケートの結果は、地域の助成財団や行政の担当部署と共有し、助成金プログラムづくりの参考としてご紹介いたします。アンケートのWebサイトでも公開しています。



福岡県内NPO助成金ニーズアンケート分析結果報告書

【出版形態】印刷

アンケート結果の概要

アンケート結果の詳細

デフレサイクルを逆転させる

アカツキのつきつきサポーターであり、2018年度からは、AKBNファンド「会計特化型」資金拠出者&支援者でもある末吉さんにお話を伺いました。



▶ 末吉祥子さん 税理士

インタビュー：富永沙和(正会員)

今回活動に携わったのは、自身の寄付を見直して活動にできがきっかけでした。10年前前から活動規模の大きなNGOを中心に、複数の団体にクレジットカードで寄付をしていたのですが、寄付が団体の役に立っているという感覚が、徐々に少なくなっていました。1度考え直そうかなとアカツキに相談し、AKBNファンドを通して団体の活動に寄付し、団体のサポートに私も同行することにしました。

実際の現場では、打合せを重ねるごとに団体の皆さんの会話が軽やかになっていく様子を見ることができました。最初に訪れたときはぎこちないやり取りだったのが、業務の種類や必要な手続きなど、団体の皆さんからお話を聞きながらホワイトボードで整理していくなかで、自然と皆さんから発する言葉が増えていったんです。

アカツキが同席していない場でも、書類整理のルールを団体の皆さんだけで話し合えて決めたというエピソードは印象的で、組織内の関係性に影響を与える活動をしていただくと感じました。助成事業の振り返りの際に、「アカツキの皆さんは「触媒」なんですね」と表現してくれたのは、寄付の意義を実感できた嬉しい言葉でした。

会計も含めた事務仕事にも、少しずつ時間を使い、みんなで話し合いをして進める必要があることを改めて実感できたので、これからもAKBNファンドがその一助になればなと思います。同行するなかで事業の内容にも興味があるので、次にお会いできたら活動の話も詳しく聞いてみたいです。

おつきあいがくださったアカツキさんに感謝申し上げます。来年は応募があり、またご一緒できることを願っています。

アカツキの仲間になってくださってありがとうございます

頂戴致しましたご支援は、主に、立ち止まり対話するための助成金「AKBNファンド」の助成原資として、また新たな知見獲得のための調査研究事業、それらの事業を支える組織基盤整備の資金として、大切に使用させて頂いております。

【正会員】

宇都 龍志さん 小島 理絵さん 小淵 亮兵さん 鈴木 大空さん 多原 真美さん 野崎 大雅さん 池本 桂子さん 富永 沙和さん 古橋 範明さん 藤原 里紗さん 大島 隆さん 稲月 ひりささん 大庭 勇さん 原口 尚子さん 仲野 美穂さん 梅崎 友貴さん 加藤 健太さん 大倉 慶子さん 青木 玲奈さん 森田 義也さん 小池 達也さん 日隈 謙さん

【サポーター会員】

香木 給美様 増永 弘子様 平 由ひ子様 河合 将生様 松田 美幸様 マクリ マイケル様 原田 君子様 松島 弘哉様 山田 なな子様 中牟田 政也様 中国 明日香様 福留 裕一様 小島 美緒様 栗田 翔行様 坂崎 あゆみ様 天川 公次様 相浦 圭太様 清水 隆哉様 比 神 加奈子様 谷口 竜平様 鶴田 文隆様 榎村 康子様 宮田 智史様 立花 祐平様 渡邊 裕子様 鹿野 翔様 池本 真一様 大久保 大助様 今村 晃幸様 横 裕 愛依子様 友永 みなみ様 鳥居 亜佑美様 伊藤 次郎様 工藤 弥生様 上村 一隆様 仲西 浩一様 加留部 貴行様 福井 崇郎様 上角 祥様 兵士 美和子様 末本 晴香様 長廣 百合子様 若 貴 一様 三上 雄様 三上 美佳子様 牧園 祐也様 河内 山 信一様 安西 隆之介様 谷口 真葉美様 馬田 英樹様 吉良 幸生様 吉崎 謙作様 濱田 千夏様 栗原 裕子様 渡貝 弘一様 富士本 和博様 佐藤 智重様

【つきつきサポーター】

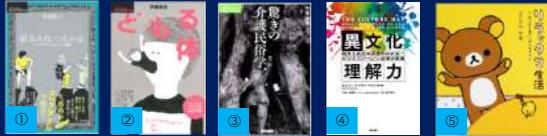
野崎 大雅様 フィッシャ 明子様 青木 玲奈様 藤本 正一郎様 佐藤 直美様 津賀 高幸様 小森 耕太様 大橋 日出男様 佐藤 貴美様 藤本 金明様 高橋 あづさ様 陶山 恵子様 池田 純一様 小島 理絵様 牛嶋 麻里子様 寺 幸 雄 様 桜 井 光 様 波 司 隆 太 様 喜 田 亮 子 様 牛 島 恭 子 様 湯 浅 美 和 様 中 川 啓 子 様 大 関 純 平 様 影 山 如 明 様 北 村 政 記 様 山 中 祥 子 様 黒 田 美 穂 様 渡 辺 達 彦 様 榎 原 真 二 様 松 原 明 様 大 島 一 晃 様 田 中 美 幸 様

アカツキ職員の本棚

▶雪松「推し」本

- ①今の立場や自分の在り方に疑問を持った人に
- ②人生を今までもこれからも大切にしたい人へ
- ③自分に優しく気持ちよい在り方を探したい人へ
- ④人と人の関わり方に、安心と勇気が欲しい人へ
- ⑤ちょっとひと息。心の換気をしたい人へ

事務局職員3人が、それぞれ仕事で大事にしている本をご紹介します



▶白神「推し」本

- ①「わかってほしい！」気持ちが沸いてる人へ
- ②大事な点、基盤となる部分をおさえない方
- ③白神が何しているのか知りたい人はどうぞ



▶永田「推し」本

- ①今、相談に乗りたい相手がいる人へ
- ②起業家でもリーダーでもないあなたへ
- ③「場づくり」を学びたい方に
- ④助成金/補助金を出す仕事をしている人へ
- ⑤タイトルに燃え(弱え)たら限定



一年の振り返り

事務局職員3人で、2019年度の事業をまるっと振り返り！それぞれから出た発言や意見をまとめてみました。また、振り返りの前後で自己評価の点数をつけてみると、振り返った後の方が、少しずつ点が上がっていました。

| | 雪松 | 白神 | 永田 |
|-------|-----|-----|-----|
| 振り返り前 | 90点 | 80点 | 90点 |
| 振り返り後 | 92点 | 85点 | 95点 |



◎良かった！

- ・アカツキの事業はもちろん、クライアントの年齢層の幅も広がり、立体的になった。
- ・行政への要望活動など、お金にはならないが公益的な意義のある仕事も丁寧に取り組んだ。
- ・雪松さんのセミナー講師の機会を増やせた、がんばった！
- ・白神さんが現場から学ぶ機会があった。人や組織の考え方の傾向が見え、整理できた。
- ・永田さんが1人でコンサルに入るケースでも、雰囲気や状況などを逐次共有できた。

▲反省…

- ・途中、収入面で心配があったものの、具体的な改善策を打ち出せず、約100万円の赤字。
- ・SDGsや調査など、新しいセミナーや講座を開発コストを回収できておらずもったいない。
- ・コンサルの途中でメンバーが追加された場合、アカツキの姿勢を伝えきれていなかった。

■今後挑戦

- ・会計ソフトに予算を入れておくことで、達成率などを進捗管理しやすくなる。
- ・アンケート結果はセミナーに、外部向けの研修を組織内部にも、積み重ねの資産を活用。
- ・クライアントや会員を交えた、事業振り返りの場も開けそう。

コンサルを受ける側として

【事業分析ワークショップ】

2019年度はアカツキも、岐阜の小池達也さんにコンサルティंगを願ひし、「立ち止まり対話をする」取り組みをしました。1月にはその一環として、**クライアント5団体(山村塾、I-DO、子どもNPOセンター福岡、あすも特注旅行班、改革プロジェクト)**に集まって頂き、これまで取り組んできた事業を整理分析し、今後に活かすためのワークを実施しました。



【小池さんからのコメント】

私は今回、アカツキと現場NPOのみみなさんがどのように出会い、関わっているかを整理する役割として参加しました。事務局スタッフや現場NPOのみみなさんの話を聞きながら、アカツキが支援や決定を「**する・される**」の垂直的な関係ではなく、**学びや対話によって「ともにする」**の水平的な関係、対外的にも内部的にも広げていることに気付か、共感しました。



アカツキ事務所の移転に伴い、廃止された「エンガワのタゲ」に代わる新企画として、2019年9月、ラジオ配信をスタートしました。その名も「ラジオ環状線」/アカツキ側がお話をして皆さんで聞くのではなく、会員やクライアント、その他お付き合いのある皆さんに、永田が話をお聞かして回るスタイルです。/特別な成功者や肩書きがある人だけが、社会課題やビジネスについて発信をし、周りが巻き込まれるのではなく、ごく普通の市民や生活者が日々考えていること・感じていることを「聴き合う」ことができたなら、と、思っています。/「1回あたり12分」の短いお話。通り若くべき目的地はありませんし、何か役に立ちそうなことも話していません。それでも、もし関心を寄せて頂ける方がいらっしゃいましたら、ご感想などお便りもお待ちしております！！

1駅目・とらさん「ラジオ」 --- 2駅目・ひろしさん「料理」 --- 3駅目・タコ社長さん「カラオケ」 --- 4駅目・さくらさん「くま」 --- 5駅目・いずみさん「かめ」 --- 6駅目・ごほんおもしろ子さん「からあげ」 --- 7駅目・いもめがねさん「耳そうじ」 --- 8駅目・ペーさん「Netflix」 --- 9駅目・かずさん「カバン」 --- 10駅目・ぬくみずさん「いぬ特に柴犬」 --- 11駅目・はらべこさん「お菓づくり」 --- 12駅目・音の名前で出ていますさん「北方謙三」 --- 13駅目・マイメロさん「チョコ」

| 科目 | | 金額(円) | 前年比 |
|--------------|---------------|-------------|--------------|
| 経常収益 | 受取会費 | 正会員/サポーター会員 | 423,000 108% |
| | 受取寄付金 | | 493,500 179% |
| | 受取助成金 | | 0 |
| 事業収益 | 1) コンサル事業収益 | 4,169,624 | 105% |
| | 2) 人材育成事業収益 | 1,794,733 | 77% |
| | 3) 調査研究事業収益 | 0 | - |
| | 4) 市民活動助成事業収益 | 822,871 | 44% |
| その他収益 | 受取利息/雑収益 | 26 | 130% |
| 経常収益 計 | | 7,203,754 | 77% |
| 経常費用 | 事業費 | 4,254,724 | 116% |
| | 人件費 | | |
| | 諸謝金 | 141,000 | 21% |
| | 会議費 | 57,161 | 141% |
| | 支払手数料 | 17,143 | 199% |
| | 旅費交通費 | 1,403,104 | 80% |
| | 消耗品費 | 148,002 | 380% |
| | 印刷製本費 | 39,994 | 204% |
| | 交際費 | 161,354 | 93% |
| | 租税公課 | 0 | - |
| | 賃借料 | 13,639 | 5% |
| | 通信運搬費 | 166,376 | 236% |
| | 研修費 | 134,600 | 121% |
| | 新聞図書費 | 18,763 | 82% |
| | 雑会費 | 54,000 | 132% |
| | 支払助成金 | 396,320 | 133% |
| 事業費 計 | | 7,006,180 | 98% |
| 管理費 計 | | 1,771,630 | 109% |
| 経常費用 計 | | 8,777,810 | 100% |
| 当期経常増減額 | | ▲1,074,056 | - |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 71,000 | 100% |
| 当期正味財産増減額 | | ▲1,145,056 | - |
| 前期繰越正味財産額 | | 4,226,067 | 136% |
| 次期繰越正味財産額 | | 3,081,011 | 73% |

活動計算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

市民活動助成事業収益
当初想定していたニーズが違っていたため、収益に結び付きませんでした。今後は対象を狭く取り進んでいます。

旅費交通費
2018年度に引き続き、毎月のように東京など県外への出張があり、他地域ネットワークでの議論は、大きな刺激になりました。

消耗品費
業務に使用するノートPCが故障したため、その修理費用が大きな負担になってしまいました。

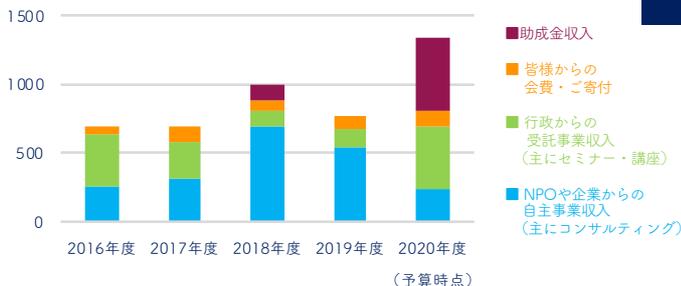
通信運搬費
助成財団シンポジウムのチラシを150箇所以上に郵送したこと、また、職員3人に各個人用のポケットWi-Fiを準備したため、増額しました。

次期繰越正味財産額
赤字決算とはなりませんが、前年度までの繰越に多少余裕があったため、300万の現預金を残すことができました。

2018年度と比較して2019年度は**収入が200万円減、支出はほぼ同じで、100万円の赤字**となっていました。原因は以下の3点と考えています。

- ①他助成機関のプログラム開発支援の依頼が、思ったよりも増加しなかった。
 - ②行政からのまとまった受託事業がなく、個別のセミナー講師依頼に留まった。
 - ③助成財団シンポなど、ネットワーク構築にはなるがコストの大きいイベントがあった。
- 非営利組織として必要な業務、またチャレンジの結果としては、「健全な赤字」とも言えますが、今後、**半期・四半期での決算時に十分な対策を練られるよう、財務管理を強化**していく方針です。

収益構造の推移



2020年度予算のポイント解説

- ・コロナウイルス感染症の影響で、個別クライアントからの依頼数や金額は「やや」減少傾向。
- ・2020年度は**財源構成比率がこれまでと大きく変化する**。代表交代と並行して、**第二次創業的なタイミング**だと捉えている。
- ・予算の収入1,330万円のうち、助成金525万円、行政受託事業が430万円の見込み。
- ・受託事業は福岡県が中心で、内容はNPOセクターの相談業務の一部や評価事業。
- ・助成金は、トヨタ財団助成の「ふりかえり評価」事業で**全体の約1/3**。
- ・助成事業では全国ネットワークの事務局（お金をさしはさる器）を担うため、実際には謝金や交通費が多く、アカツキを経由して支出される。
- ・財政規模には大きくなるが、**業務量や忙しさはさほど変わらない見込み**。
- ・調査やモデル開発的な事業が増えるため、あちこち動き回っていた2019年度と比較すると、**腰を落ち着けて事業に取り組める予定**。

アカツキ正会員のお二人にご協力いただき、制作いたしました。

富永 沙和 さん
コンサルティング会社勤務

思い返せば、学生インターンで参加して間もなくアカツキがNPO法人化したのが、もう8年前のこと。アカツキが、根幹の思いはそのままだに、カタチを変えて歩んでいることを実感できた機会でした。久しぶりに寄付ではなく実動で、お手伝いできて良かったです。



原口 尚子 さん
地場シンクタンク勤務

やりとりの中で「毎年こうやって一緒に作ってるんだ、アカツキは！とりたい」という雪松さんの一言がありました。お金は寄付したことを忘れることもありますが「才能寄付」は記憶と形に残る点がいまいちも思います。機会いただきありがとうございます。



貸借対照表

(2020年3月31日時点)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------|-----------|---------------|------------|
| 科目 | 金額(円) | 科目 | 金額(円) |
| 流動資産 | | 流動負債 | |
| 現金 | 136,208 | 未払金 | 380,000 |
| 普通預金 | 2,920,069 | 預り金 | 4,266 |
| 現金・預金 計 | 3,056,277 | 未払法人税等 | 71,000 |
| 未収金 | 480,000 | 負債の部 合計 | 455,266 |
| 売上債権 計 | 480,000 | | |
| | | 正味財産の部 | |
| 流動資産 合計 | 3,536,277 | 正味財産 | 前期繰越正味財産額 |
| | | | 4,226,067 |
| | | | 当期正味財産増減額 |
| | | | ▲1,145,056 |
| | | 正味財産の部 合計 | 3,081,011 |
| 資産の部 合計 | 3,536,277 | 負債・正味財産の部 合計 | 3,536,277 |